



甲南第一小学校だより

第一っ子



令和5年3月1日

(2022年度)

第11号

甲南第一小学校

本当の『春の訪れ』に備えて

いよいよ今年度最後の月、3月を迎えました。一年が過ぎるのは本当に早いものです。今年度もコロナ対応に追われる一年となりましたが、そんな状況にも関わらず、保護者や地域の皆様をはじめ多くの関係者の皆様には、多大なご支援とご協力をいただきましたこと、心よりお礼申し上げます。

さて、3月6日には、二十四節気の一つ「啓蟄（けいちつ）」を迎えます。「啓」は「ひらく」という意味を持ち、「蟄」は「土中で冬ごもりをしている虫たち」という意味があります。つまり、「啓蟄」とは、「冬眠していた虫たちが春の訪れを感じて土の中から出てくる頃」ということで、いよいよ春を実感できる季節の到来ということになります。

また、春の到来に関連した言葉に「虫出しの雷」という言葉があるのはご存知でしょうか。「むしだしのかみなり」「むしだしのらい」と読み、立春後の初めての雷を指す言葉で、土の中で眠っている虫たちの目覚めを促す雷という意味があります。立春を過ぎ「啓蟄」の頃には、大気も不安定になり雷が鳴ることがあります。この雷は春の到来を告げる「おめでたい雷」と考えられており、「啓蟄」という言葉の意味と合わせて雷に驚いて虫たちが出てくることから「虫出しの雷」と名付けられました。

本格的に生き物も活動を始め始める良い季節となり、来月には新年度がスタートします。コロナ感染も一応の収束の兆しが見え始め、私たち人の社会にも本当の意味での春の訪れが感じられるようになってきたのではないのでしょうか。子どもたちは、これまで感染に注意しながら様々な制約の中、本当によくがんばってきました。どんなピンチの状況下においても、子どもたちは、「命」

の大切さを感じ、様々な人々への「感謝」の気持ちを持ち続け、自分の生活や学習をしっかりと見つめながら、たくましく成長することができました。そして、間もなく訪れるであろう「本当の春」を待ちわびながら、じっくりと力とエネルギーを蓄えてきました。

これからやってくる「本当の春」に備えて、私たち教職員が、第一っ子の「おめでたい雷」役となり、子どもたちの蓄えてきた力をしっかりと引き出しながら after コロナにつないでいきたいと思っております。

もう少しの間、コロナウィルス対策中心の学校運営となりそうですが、どうぞ令和5年度も引き続き本校教育につきましてご理解をいただきますとともに、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

甲南第一小学校 校長 松山 辰也



令和4年度卒業式について

令和4年度卒業式の実施について、その概略を以下の通りお知らせいたします。今後のコロナウィルスの感染状況によっては、式の内容を変更することがあります。

- 日時：令和5年3月17日（金）9時～
- 場所：甲南第一小学校体育館
- 式参加対象
卒業生、本校関係職員、お家の方2名以内
4・5年生児童

- ※1～3年生は通常授業となります。
- ※来賓の出席はありません。
- ※コロナ対策については、感染状況により適時変更することがあります。



一年間ありがとうございました!

今年度もコロナ禍、子どもたちのため、登下校の見守り、校舎内外の環境美化、クラブへの支援ボランティア等で、地域や保護者の皆様には一年間本当にお世話になりました。多くの制約のある中、変わらぬ温かな言葉かけや支援を続けていただき、心より感謝しております。コロナ感染が収束の兆しも見え始めてきました。新年度には以前のようにとはいかないまでも、夢や希望のもてる生活が戻ってくることを期待

しているところです。来月からは新たな年度がスタートします。令和5年度が希望に満ちた明るい一年になることを祈念しつつ、これからも子どもたちの見守りやご支援をよろしくお願いいたします。



ひとみ輝く第一っ子 よく学び・心豊かに・健やかに